

佐賀県出身の美術家



野村昭嘉 ~夭折の画家~

野村昭嘉（1964–1991）は佐賀市出身の画家で、26歳で短い生涯を閉じました。乾いた絵の表面に浮かぶ不思議な生きものや物体を描く独特の表現が特徴で、《雲の製造》などで注目されました。東京都立川市で起きた事故で亡くなりましたが、佐賀県立美術館では遺作や制作ノートを展示する展覧会が開かれ、彼の創造の跡を知ることができます。短い時間でも自分の世界を表現する大切さを伝える画家です。